

自然共生型農業研究シンポジウム2017

<開催趣旨>

本シンポジウムでは、内閣府の主催する戦略的イノベーション創造プログラム（「次世代農林水産業創造技術」・『持続可能な農業生産のための新たな総合的植物保護技術の開発』）における「ジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」ユニットの研究成果の報告を行う。また、光をキーテクノロジーとした害虫防除技術や農業微生物の制御技術、土壌の病原微生物分析に基づく圃場診断、植物共生微生物を活用した有用微生物資材の開発の可能性等の減農薬・脱農薬に関連する研究を活発に展開している先進的な研究者を招待し、当該分野における最新の知見を紹介する場を提供する。肥料・農業資材メーカーと連携した病害虫研究を推進することによる農薬に依存しない病害虫防除技術の開発、さらに「おいしさ」の向上と科学的解明も目的とした「科学的な農業・土作り」に関する研究も始まりつつあり、これらについての展望も議論したい。

日時：平成29年10月26日（木）10:00～17:30（開場 9:15～）

場所：諫早文化会館 中ホール（1階）（長崎県諫早市宇都町9-2 電話：0957-25-1500）

シンポジウム：参加費無料（定員300名）、参加申込締切平成29年10月20日（金）

情報交換会：参加費5,000円（定員70名）、参加申込締切平成29年10月13日（金）

第1部 招待講演 10:00～14:10

1. 「光と色を使った農作物害虫防除の最前線」

農研機構生物機能利用研究部門 ユニット長 霜田政美

2. 「光による植物微生物相互作用の調節と賢い農業のための光微生物生態学のすゝめ」

佐賀大学農学部 教授 鈴木章弘

3. 「土壌病防除のための植物根・土壌の健全性診断法開発の試み」

秋田県立大学生物資源科学部 教授 古屋廣光

第2部 戦略的イノベーション創造プログラム成果報告 14:10～17:20

4. 「植物共存細菌の分子生態学的研究を活用したジャガイモそうか病防除の可能性」

鹿児島大学農学部 教授 境 雅夫

5. 「北海道におけるジャガイモそうか病防除のための新規資材の探索」

農研機構北海道農業研究センター 主任研究員 浅野賢治

6. 「鹿児島県におけるジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」

鹿児島県農業開発総合センター大隅支場 環境研究室長 森 清文

7. 「長崎県におけるジャガイモそうか病防除のための新規栽培体系の開発」

長崎県農林技術開発センター 主任研究員 菅 康弘

8. 「有機物資源の循環を通じた微生物制御による土壌病害防除技術の開発の試み」

片倉コープアグリ株式会社筑波総合研究所 主任研究員 三星暢公

9. 「農業微生物研究からの自然共生型農業への展望－総合討議・質疑応答」

片倉コープアグリ株式会社 技術顧問 野口勝憲

主催：農研機構北海道農業研究センター

参加申込み・問い合わせ先

北農研 芽室研究拠点 池田成志

〒082-0081北海道河西郡芽室町新生南9線4番地

TEL：0155-62-9276、FAX：0155-61-2127

E-mail：tokachi@ml.affrc.go.jp

